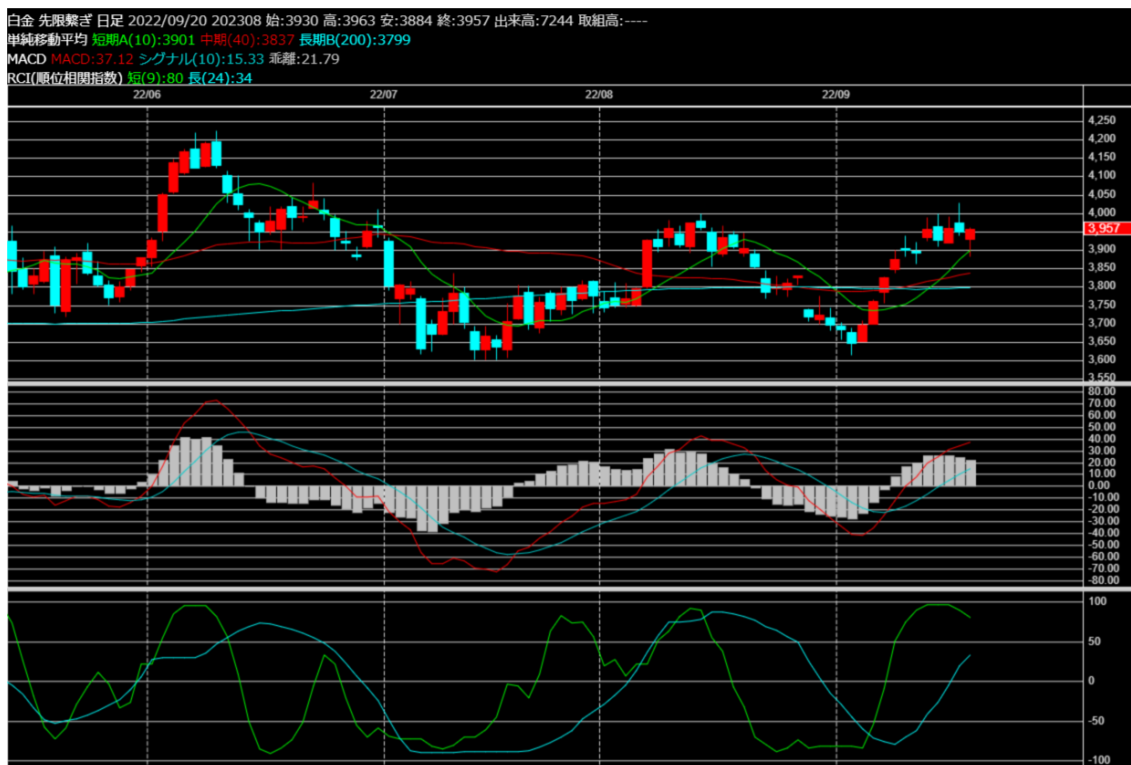


<白金標準先物、FOMC以降の3850円以下は強気の域・・・>



(出所：オアシス)

欧州では欧州委員会委員長が年次一般教書の中で新しい水素銀行の設立を発表し、この新しい水素銀行は、欧州投資銀行と協力し欧州議会が同時に承認された再生可能エネルギー指令の目標をカバーするために製造が必要な1000万トンの水素を購入するための設立であり、PGM需要の更なる後押しを受ける事になる。またBMWはトヨタと共同開発した燃料電池車の量産を早ければ2025年には開始すると伝えられている。そのため今週のCPIの発表以降、金価格が大きく下落する中で、白金価格は高値追いを続けながら9月は415円の上昇を示すなど、需給の見直しから金利が上昇しても高値追いを続けている。

ただ週末には英国の小売上高が事前予想の-0.4%を下回る-1.6%となるなど、インフレ高が欧州経済に悪影響を与えており、ユーロ安に合わせて一時3884円まで下値を試しているが、ミシガン大消費者信頼感指数の発表でインフレの落ち着きを示すと3900円を回復している。特に今週はFOMC、日銀、トルコ、スイスと金融政策が発表されるが、先進国で唯一日銀は緩和策を続けており、金融政策の違いを受けた円安は145円を超えて147円を試す可能性が高まるだけに、3850円以下は強気の姿勢が妥当と思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDとシグナルは上昇し、RCIでは短期が下げながら、長期は上昇を続けている。ただ日足が10日移動平均線を一時試すなど目先高値が止まった反動から40日移動平均線が位置する3837円へ向けた調整には注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引1,718,000円(2022年9月20日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復36,080円(2022年9月20日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話03-3249-8827(受付時間:平日8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>